



すぎなみ

# 教育報

第180号  
平成18年3月15日  
発行 杉並区教育委員会  
杉並区阿佐谷南1-15-1  
☎3312-2111 FAX 5307-0692  
教育委員会ホームページ  
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>  
区公式ホームページ  
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

## 杉並区教育ビジョン推進計画を策定しました



杉並区教育委員会では、「杉並区教育ビジョン（平成17年1月教育委員会決定）」に掲げた教育改革の方針、施策の方向の実現に向けた具体的な施策を体系化し、平成17年度から19年度までの3年間で、特に重点的に取り組む施策をまとめた「杉並区教育ビジョン推進計画」を策定しました。

この計画は、杉並区の基本計画・実施計画である「すぎなみ五つ星プラン」や、「子ども・子育て行動計画」との整合性を図り策定したもので、平成18年度に予定されている「すぎなみ五つ星プラン」の改定に合わせ、再度見直しを行う予定です。

問合せ先：庶務課計画係

### 区民意見提出手続きの実施状況について

計画の策定にあたっては、広報すぎなみや区ホームページなどで素案を公表し、平成17年11月1日から11月21日まで、区民の皆さんのご意見を伺いました。その結果、個人27件、団体3件、合計30件（延べ189項目）のご意見をいただきました。（いただいたご意見の概要及び区の考え方は、ビジョン推進計画と同様に、教育委員会事務局庶務課、区政資料室、区民事務所・分室、駅前事務所、図書館で閲覧できるほか、区公式ホームページでも公表しております。）

## 主な施策

### 「教師(師範)」を育てます

平成18年4月杉並師範館を開塾し、19年4月卒塾生30名程度を教員として区が独自に採用する予定です。  
教員研修の充実・多様化を進めます。

区の特色や子どもの実態により適した教科用図書（生活科）算数ドリルの独自開発を進めます。

### 自立と責任のある学校をつくります

区立小・中学校で、区独自の学力・体力調査を実施し、その分析に基づく指導方法の改善、個別指導を行います。  
食育を推進し、18年度、「食と学力・体力との関係調査」を実施します。  
徳育（道徳教育）を推進します。  
地域を題材とした体験的な学習を進め、19年度には、これらの活動をまとめた「杉並地域学習の手引き」を作成します。  
18年度、小中学校9年間にわたる系統的なキャリア教育プログラムを作成します。  
和泉小・新泉小・和泉中における小中一貫教育を推進します。  
18年度、新たに4所で幼小連携教育を開始します。  
教育管理職研修の充実・多様化を進めます。  
19年度、学校経営支援組織を設置します。

民間人校長の任用を継続するとともに、民間人副校長任用の検討を進めます。  
18年度、保護者や学校関係者以外の第三者による学校評価（第三者診断）を試行し、19年度以降、希望校で実施します。  
19年度末までに、10校の校庭・21校の屋上・11校の校舎壁面を緑化し、15校に学校ビオトープを設置します。（校数は、既に施工されている学校を含めた数です。）  
地域や保護者のみなさんが学校運営に参画する地域運営学校を、小学校2校・中学校2校で推進し、19年度にはこれら地域運営学校の活動などを軸として、モデル地区に「地区教育委員会」を設置します。  
学校の教育活動を財政的に支援するために、地域の皆さんが主体的に運営する教育基金の設立に向けた準備を進めます。

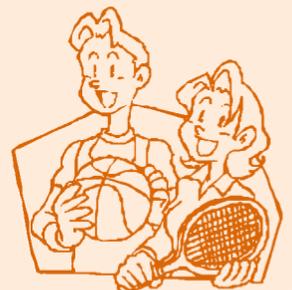
### 地域の教育力を高めます

放課後や週末の「子ども居場所づくり事業」を推進します。  
学校教育コーディネーターや教育支援NPOなどを核に、地域の多様な団体のネットワーク化を推進する「杉並区教育支援プラットフォーム」を構築します。  
教育機関における子育て相談の充実、地域の関係機関とのネットワークの強化を進め、18年度、「緊急時の心のケア対応マニュアル」を作成します。  
社会や地域に貢献したいと願う人々の力を高め、具体的な活動につなげ、活力ある地域づくりを進めるため、「すぎなみコミュニティカレッジ」を「すぎなみ地域大学」へ統合します。また「すぎなみ大人塾」を実施します。  
「杉並区スポーツ振興計画」を策定し、中・長期的な視点で区民のスポーツ参加の機会の充実を図ります。

既存の体育団体、新たなスポーツ振興に関わるNPO等との協働により、幅広いスポーツ指導者やボランティアの育成・活用を進め、スポーツ活動を充実します。

18年度、「杉並区子ども読書活動推進計画」を見直し、計画事業を推進します。

18年度、「科学館基本構想」を策定し、科学館を「科学をはぐくむ地域社会づくりの拠点」としていきます。



「つながり」と「深まり」のある教育を目指して

幼小連携教育を進めています



1年生と年長組園児の交流「数の書き方教えてあげるね！」

平成17年4月、杉並第四小学校と高円寺北幼稚園は、同じ建物の中で新学期を迎えました。

4月11日、幼稚園入園式で小学2年生の児童からお祝いの歌などのプレゼントが贈られ、本格的に幼小連携教育のモデル事業が始まりました。

幼稚園、小学校では幼小連携教育を推進するに当たり、平成16年度から「幼小のかかわりを通して豊かな人間性をはぐくむ」をテーマに合同研究に取り組んでいます。合同研究の公開授業では、優しくたのしい小学生のお兄さん・お姉さんへの幼稚園児の憧れのまなざしや、幼く無邪気な幼稚園児たちへの、小学生の思いやりのある温かい笑顔と行動が見られ、それぞれの子どもたちに与える教育効果を感じ取れました。

幼稚園が小学校内に移設したことにより、交流給食を行ったり、小学校の休み時間に園児と児童が遊んだりするなど、日常的な交流や行事の中からも相手を思いやる、尊敬する気持ちが育ちはじめています。

今後は、区立幼稚園と区立小学校だけでなく、私立幼稚園・私立保育園・区立保育園と区立小学校との連携にも取り組んでいきます。

「学びと育ちの連続」をキーワードに

小中一貫教育を実施しています

「算数の問題が解けてうれしかったな!」「素敵なキャッチコピーが作れて満足!」「外国人の先生と英語で話ができ楽しかったよ!」新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校の子どもの声です。

この3校は、平成17年4月から「基礎・基本の確実な定着」<21世紀に求められる力の育成> <国際社会で活躍できる英語教育の実施>を柱とする小中一貫教育の実践的な研究に取り組んできました。それぞれの授業では、苦手な学習内容に戻って学びなおす姿や、楽しみながらトレーニングに取り組む姿、英語の歌を自信満々で歌う姿など、生き生きとした子どもたちの表情をたくさん見つけることができました。その背後にある、各プロジェクトチームでの協議や、合同研修会による学びあい等、「学びと育ちの連続」を実現するための教員の一貫団結した努力を忘れることはできません。

平成18年度には、それぞれの柱をより一層確かなものにしていくとともに、各教科等における一貫の在り方や、保護者・地域の方々に、小中一貫教育の取り組みを知っていただくための具体的な取り組み等について研究・実践を行います。

3校では一貫教育にかかわる全ての授業や活動を公開しています。ぜひご来校いただき、学び喜びにあふれた子どもたちの姿をご覧ください。



新泉小の子どもたちと運動会を楽しむ和泉中生徒

通学上の安全対策について



子どもの安全について熱弁をふるう小宮先生

杉並区では、広島・栃木での二つの児童殺傷事件をふまえ、低学年児童の集団下校、教職員等による学校周辺の警戒、区職員も動員しての区安全パトロール隊による児童下校見守りの強化等の緊急対策をとっています。これを「児童の下校見守り特別強化期間」とし、平成18年3月未まで実施の予定です。

《今後の取り組み》

緊急対策に加え、各小学校では、改めて安全な通学ルートを確保するために、通学路の点検と見直しを行います。さらに危険情報の共有化を図るため、学校安全マップを作成し、全児童に配布します。また、子ども安全ボランティアを募集し、保護者と地域との連携による見守り体制をつくります。

今回の安全対策の一環として、1月26日に犯罪社会学の第一人者である立正大学の小宮信夫助教授を講師として、地域安全マップづくりの講習会を行いました。当日は区内の全小学校から180名を超す教職員・保護者・区職員が集まり、会場は子どもたちを何としても守りたいという熱気に包まれました。

問合せ先：学務課

小児生活習慣病シンポジウム開催!

知っていますか?子どもの生活習慣にイエローカード! 循環器疾患の予防は子どもの時から

生活習慣病とならない暮らし方を身につけよう

2月16日、セシオン杉並において、日本大学医学部等の協力を得て、小児生活習慣病予防シンポジウムを開催しました。

最近、メタボリックシンドロームという言葉をよく耳にします。これは、肥満に加えて、高血圧・高脂血症・糖尿病などをあわせ持った状態をいいます。これらは、動脈硬化を引き起こす危険因子と言われ、長い間の不適切な生活習慣が原因で発症する大人特有の病気と思われてきましたが、現在、「コレステロールが高い」「血圧が高い」「太りすぎ」などを指摘される子どもが増えてきています。

このシンポジウムでは、「医学」「栄養」「運動」の各分野の第一線で活躍する講師をお招きし、基調講演を行いました。更に、地域で活動している管理栄養士、区立小学校の先生も加わり、パネルディスカッションを行いました。その中で、現在の子どもたちの生活習慣に内在する問題点、例えば、塾通いによる夕食の問題や遊び時間の減少、体力の低下等に焦点をあて、どのような取組みが必要となるのか具体的なご意見をいただきました。

小児生活習慣病は、色々な原因が積み重なって発症するものです。小児生活習慣病を防ぐために、親子で運動する時間を増やしたり、食事をする時間や食事内容を工夫するなど、できることはたくさんあると思います。ご家族でも小児生活習慣病とならない暮らし方や生活習慣について話し合いをしていただき、健康的な生活習慣を身につけていきましょう!

地域教育フォーラム2006 教育に支援を惜しまない地域社会づくり!!

杉並区教育委員会では、教育に支援を惜しまない地域社会づくりを推進しています。地域で行われている様々な教育活動と職場体験学習の取り組みの紹介、学校支援のために地域でできることの提言を行うため、2月10日(金)午前10時から午後5時まで、セシオン杉並において、「地域教育フォーラム2006」を開催しました。

午前中に開会式・基調講演を行い、午後からは「地域がつくる学校」、「職場体験学習」の二つの部会に別れ討論会等を行いました。閉会式では、二つの部会のまとめの発表とフォーラムのテーマソングの発表を行いました。この結果は、報告書としてまとめ本年度中に各小中学校に配付するとともに、教育委員会のホームページにも掲載します。

開会式・基調講演

納富教育長の開会のあいさつ後、日本女子大学 田中雅文教授による「学校と地域の連携～教育に支援を惜しまない地域社会づくり～」の講演を行いました。

なぜ、地域と学校の連携が必要なのか、求められる背景や連携のイメージなどをわかりやすくお話しいただき、参加された方が今後の学校と地域の連携のあり方について理解を深めました。



田中雅文氏

地域がつくる学校

地域による学校支援の取組事例

区内外の5つの学校(区内:桃井第四小学校、三谷小学校、和田中学校、区外:三鷹第六小学校、小平第四小学校)において行われている、地域による学校支援の取り組み事例について発表を行い、参加された方は熱心に耳を傾けていました。

地域別討論会

「地域による学校支援のあり方」をテーマとして、地域の立場から学校と地域のより良い連携のために、地域がやるべきこと、学校のあるべき姿について、区内を4つの地域(中学校区分区)に分けて討論を行い、それぞれ活発な議論が行われました。

職場体験学習

職場体験学習の実践報告

今年度区内の全ての区立中学校において取り組んだ職場体験学習は、各校の特色を反映して様々な取り組みが見られました。中でも特徴的な、大宮中学校の「民間企業連携型」、泉南中学校の「地域密着型」、天沼中学校の「キャリア教育型」の3校の発表を通して、職場体験学習のあり方、進め方を参加者の皆さんとともに考えました。

パネルディスカッション

実際に中学生を受け入れていただいた民間企業・公共公益機関の担当者の方々、体験の成果を実感された保護者、指導・交渉など実際に本事業を推進した中学校教諭の計4名とコーディネーター(大東文化大学 苅宿俊文助教授)が、「地域と共同したキャリア教育の推進」をテーマとして、職場体験学習の実態をもとに語り合いました。

中学生による討論会

「働くことの大変さがよくわかった」、「両親に対する感謝の心が芽生えた」、「これからの自分の人生に生かしていきたい」。これらは、職場体験を終えた中学生の感想です。事後のアンケートからも9割以上の生徒が、体験に価値を感じる事ができたと回答しています。

実際に職場体験をした中学生たちが、職場体験学習の意義や成果、今後の課題などについて、活発な議論を行いました。

閉会式

各部会からの発表

午後のプログラムが、「地域がつくる学校」、「職場体験学習」の二つの部会に別れたため、それぞれの内容について、参加者の共通理解を図るため、各部会からの発表を行いました。

フォーラムテーマソングの発表

現在セラピストとしても活躍しているシンガーソングライターEPO(エポ)さんが、職場体験学習に参加した中学生の感想文をもとに作詞・作曲をした、フォーラムテーマソング「WE CAN」の発表を行いました。EPOさんと高井戸中学校の生徒によるテーマソングの合唱のほか、中学生討論会の代表者による宣言が行われました。



教育委員からの発信

今年度の「教育委員からの発信」では、「杉並区のみならず教育」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。なお、今年度、未掲載の丸田委員長、大副委員長、安本委員からの発信は、来年度に掲載する予定です。

神話と歴史

このお話しは日本書紀に載っておりまして、日本書紀には又、子どもに恵まれない女性の嘆きの文章も紹介されています。

教育委員長職務代理者 宮坂 公夫



このお話しは日本書紀に載っておりまして、日本書紀には又、子どもに恵まれない女性の嘆きの文章も紹介されています。

舎人親王によって正史として編纂された日本書紀のような歴史書は、古い国ならいろいろありますが、多くの場合、その中に子どものごや子どものいない女性の悩み等が記述されることはあまりないでしょう。日本書紀にこういったものが載っているということは、いかに日本が平和な国だったかという一つの表れでしょう。

私は今の子どもたちに国の歴史を素直に見てほしいと思っています。「子どもは親の背中を見て育つ」という言葉がありますが、戦後、私たちはひたすら経済活動にのみ力を注ぎ、人間いかに生きるべきかの背中を見てこなかったと思います。せめて今の僕に祖先の歴史を、祖先の背中を見せる教育をしてほしいと考えております。

私たちの祖先が如何に生きてきたか、どのようなことに苦しみ、悲しみ、あるいは喜びをもっていたのか、どのような理想を国をつくってほしいという祈りがあったのか、もう一度真摯に学んでほしいと心から願っております。

「ご意見をお待ちしています」

「教育委員からの発信」をお読みになった方からの「ご意見」を募集いたします。「ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。」

送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1-15 1 杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員への意見」あて ホームページ http://www.city.suganami.tokyo.jp/ 「教育委員からの発信」(場所:「生活ガイド」・「子供」教育) 「教育委員からの発信」

杉七小に続き、今春から、堀之内小の校庭を全面芝生化!芝生の上で、元気に遊ぶ子ども達の姿がみられます。教育委員会では、エコスクール化を推進しており、今年度、夏に杉並第七小学校の校庭を、冬に堀之内小学校の校庭を芝生化し、芝の校庭が全部で6校となりました。杉七小では11月、芝生の上で「竹トンボ」を飛ばすイベントを開催し、児童と保護者、地域の方々との交流が図られました。また、堀之内小では1月に、保護者・地域の方々へ連絡研修会を開催し、校庭芝生の維持管理等のご協力をお願いしました。

中央図書館の隣に「読書の森公園」が開園します! 3月25日(土)の開園記念イベントとして、おはなし会と映画会を行います。参加希望の方は、当日直接会場にお越しください。お話し会=会場:読書の森公園(荻窪3-40) 時間・内容:12時~12時30分「日本のむかしばなし」 1時~1時30分「世界のむかしばなし」 映画会=会場:中央図書館(荻窪3-40-23) 時間:2時~2時40分 内容:「かいけつゾロリ まほう使いのどろろ」 「かいけつゾロリ 大かいそくの宝さがし」 問合せ先:中央図書館 ☎3391-5754

多くの子どもたちが読書に親しみ、心豊かな人として成長できるよう  
**読書活動を推進しています**

子どもの本のつどい in いおぎ

皆さんは読書が好きですか。読書嫌いのお子さんに、少しでも本の楽しさを感じてもらいたいと思っている方はいませんか。

2月4日、井荻小学校特活室で行われた子どもの本のつどい in いおぎでは、読書活動研究家の黒木秀子さんが、会場に集まった参加者に絵本の読み聞かせを行い、読書の大切さ、読書嫌いの子どもの関心を引くコツなどを話してくださいました。

黒木さんの抑揚のある声に、瞬く間に物語に引き込まれる参加者たち。黒木さんが「もう一度、読みます。もし私が読み間違いをしたら、皆さん、大きな声で『違う!』と指摘してください。」聞き逃すことなく間違いを指摘しようと、参加者はさらに集中して物語に耳を傾けます。登場人物の名前が違ったり、嫌がっていたはずの場面で喜んでいたり...。「違う!」「違う!」たくさんの声があがります。

「少しの工夫で、子どもたちの興味を引くこと、聞く力を向上することが可能です。また、読み手が好きな本を心を込めて読めば、必ず子どもたちに感動が伝わります。絵本世代ではないお子さんには、親子で相手に読んでほしい本を選びあうといったことをしても面白いでしょう。読書は考える力を育てます。是非、子どもたちに読書の楽しさを伝えてあげてください。」と黒木さんは締めくくりました。

読み聞かせに使用された絵本：「おじいちゃんがおばけになったわけ」(あすなろ書房)  
 「きみのおんなじさ」(岩崎書店)

活字文化フェスタ2006「蚕糸の森の本の虫 春です!活字も目覚めます!」  
 子どもから大人まで、「読む」「書く」「聞く」「創る」を楽しんでみませんか?

このイベントは「車座委員会」など「子どもの読書」や「活字」に関心のある人々が実行委員となり、子どもの読書活動に関わる人材育成の成果を生かし、人と人、活動と活動が出会い、広がる場として開催するものです。詳しくは広報すぎなみ3月11日号や区公式ホームページ、チラシ等をご覧ください。

- 日時 3月24日(金) 午前10時~午後8時30分
- 会場 セシオン杉並、蚕糸の森公園、女子美術大学
- 内容 全体向け：本・パネル・原画等の展示、掲示板コーナー 等  
 幼児~小学生向け：読み聞かせ、ワークショップ、写真撮影コーナー(予定) 等  
 青少年向け：中高生対象講座(本の制作・本のおもしろさ)、大学生企画 等  
 成人向け：トークショー(三善里沙子vs宇野和男) 等

問合せ先：社会教育センター

平成18年度から学校用務業務等の民間委託を開始します

杉並区教育委員会では、学校施設整備等を充実させるとともに、厳しい財政事情の中、効率的な運営を図るため、平成18年4月から、小学校1校、中学校1校で学校用務業務等の民間委託を開始します。

民間事業者の創意工夫やノウハウを活用することで、学校施設整備のレベルアップを図り、より多くの人員を配置することで、安全・安心の観点からも充実した施設管理を目指します。また、用務業務の他、施設管理業務、委託清掃業務など出来るだけ多くの業務を一つの事業者へ委託することで、学校運営の円滑化を図ります。

- 委託内容 用務業務全般、施設管理業務、委託清掃業務、害虫駆除業務
- 委託校 三谷小学校、井草中学校

問合せ先：学校運営課

学校給食調理業務の民間委託を進めています

杉並区では、学校給食調理業務の民間委託(自校調理方式)を、平成13年9月より進めています。

18年度の新規委託校は4校で、これにより、区立学校68校のうち27校(小学校14校、中学校13校)が民間委託となります。

委託校では、1回に使用できる食器数の増加により、おかずの組み合わせが多くなったことなどから、児童・生徒から好評を得ています。また、学校関係者や保護者、受託会社の代表などで構成された「学校給食運営協議会」を設置し、直接、保護者や児童・生徒の声を生かしながら、安全でおいしい給食作りを目指しています。

今後も、デザートフォークを購入するなど、児童・生徒にとって、より楽しく豊かな給食を提供できるように取り組んでいきますので、区民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

18年度新規委託校 桃井第一小学校、三谷小学校、井草中学校、大宮中学校

<平成16年度の経費削減効果>

19校で約2億1500万円(1校あたり約1130万)の経費を削減することができました。

問合せ先：学務課



便利なサービスが始まりました!

区役所いつでも電話サービス



このサービスは、「住民票は土曜日でも発行してもらえますか?」「不燃ごみの収集日はいつですか?」など、区のサービスや手続き、施設の案内など、ちょっとしたお問合せに対して、コールセンターのオペレータがその場で丁寧に答えられるものです。お気軽にご利用下さい。

利用時間：午前7時から午後11時まで  
 年中無休

利用方法：電話 #8800  
 または3372-8800  
 F A X 3372-8810  
 Eメール call@8800.city.suginami.tokyo.jp

問合せ先：区政相談課コールセンター開設準備担当



平成17年度教育委員会の各表彰者決定

小中学校、養護学校の児童生徒の文化活動に関する優秀な成績をたたえ表彰する文化栄誉顕彰、体育大会などにおいて優秀な成績を収めた方々に対し、その栄誉を表彰するスポーツ栄誉顕彰、優れた教育活動、研究などを行った教職員を表彰する教職員表彰の受賞者が決定しました。

2月13日には教職員表彰、3月3日には文化栄誉顕彰とスポーツ栄誉顕彰の表彰式がそれぞれ行われました。

各表彰の被表彰者及び功績については教育委員会ホームページに掲載しています。

受賞者のみなさん、おめでとうございます!

教育委員会の動き

17年12月~18年2月

【教育委員会開催状況】

- 定例会 4回
- 臨時会 1回
- 議案 9件
- 報告事項 20件

【主な案件】

- は審議、は報告事項
- 「杉並区教育ビジョン推進計画」について
- 「杉並区立小中学校第一次適正配置計画(小学校の統合)」の策定について
- 平成18年度学校給食調理業務に係る民間委託新規実施校の決定について
- 杉並区立小中学校第一次適正配置計画策定のためのたたき台(学校の統合-小学校-)に関する第三者委員会の意見・提言について
- 中央図書館運営業務の一部委託について
- 幼小連携教育の推進について
- 通学上の安全対策について
- 高井戸小学校遺跡発掘出土炭化材について
- 平成18年度杉並区教育委員会重点施策について

〇ペン知る 西荻地域に新図書館を建設します

今川4丁目の井草社会教育会館を平成18年3月31日をもって閉館し、併設の井草敬老会館の改築と合わせて、新しい地域図書館として「(仮称)今川図書館」を建設します。18・19年度に建設工事を行い、平成20年春の開館を予定しています。問合せ先：中央図書館 ☎3391-5754



古紙配合率100%再生紙を使用しています。